

平成17年度 決算報告書

国立大学法人 滋賀医科大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,369	5,369	—	
施設整備費補助金	148	154	6	(注1)
施設整備資金貸付金償還時補助金	508	1,525	1,017	(注2)
補助金等収入	—	54	54	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	31	31	—	
自己収入	12,485	12,767	282	
授業料、入学料及び検定料収入	680	605	△ 75	(注4)
附属病院収入	11,744	12,059	315	(注5)
雑収入	61	103	42	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	620	999	379	(注7・8)
長期借入金	859	859	—	
計	20,020	21,758	1,738	
支出				
業務費	15,524	16,314	790	(注9)
教育研究経費	4,818	4,983	165	
診療経費	10,706	11,331	625	
一般管理費	1,292	1,063	△ 229	
施設整備費	1,038	1,044	6	(注10)
補助金等	—	53	53	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	620	844	224	(注12)
長期借入金償還金	1,546	2,567	1,021	(注13)
計	20,020	21,885	1,865	
収入－支出	—	△ 127	△ 127	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、平成17年度補正予算により「アスベスト対策事業」を行ったため、予算金額に比して決算金額が6百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備資金貸付金償還時補助金については、平成17年度補正予算により、繰上げ償還を行ったため、予算金額に比して決算金額が1,017百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった大学改革推進等補助金の交付を受けたため、予算金額に比して決算金額が54百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成18年度入学者に係る授業料の前納収納を行わないこととした(△65百万円)等により、予算金額に比して決算金額が75百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、稼働率の向上、手術件数の増等により、予算金額に比して決算金額が315百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、科学研究費補助金に係る間接経費(35百万円)の受領等により、予算金額に比して決算金額が42百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国(の各組織、特殊法人及び民間)からの受託研究及び寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が379百万円多額となっています。
- (注8) 平成17年度計画の予算において特許権及び著作権に係る収入については、「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」に計上しており、予算額9千円、決算額0千円、予算金額に比して決算金額が9千円少額となっています。
- (注9) 業務費及び一般管理費については、承継された職員に係る退職手当の減により、また、附属病院収入の増に伴う診療経費の増加及び医療機械の更新等により、予算金額に比して決算金額が561百万円多額となっています。
- (注10) 施設整備費については、(注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が6百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が53百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が224百万円多額となっています。
- (注13) 長期借入金償還金については、(注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,021百万円多額となっています。